アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 71／ 2012 年 12 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第71号をお届けします.

【1】IEEE AP-S Japan Chapter 創立40周年特別講演会報告

2012年11月14日(水)東京電機大学 東京千住キャンパスにおいて, IEEE AP-S Japan Chapter 創立40周年特別講演会 ～日本における最新アンテナ伝搬研究・AP-Sの歴史と今後の展望～が開催されました. 会場が手狭であったこともあり, 予想以上の81名の参加された皆様には不便をおかけ致しましたが, 以下の4件の興味深い招待講演が行われ, フロアからも多くの質疑が寄せられ, 40周年を記念すべき講演会として盛況のうちに終了いたしました. 参加された皆様に感謝申し上げます.

・藤井 輝也(ソフトバンクモバイル):
「新たな時代に対応した移動通信電波伝搬技術」
・新井 宏之(横浜国大):
「これからのアンテナ」
・庄木 裕樹(東芝):
「ワイヤレス電力伝送技術の実用化に向けた課題と取り組み」
・安藤 真(東工大):
「アジアにおける主要会議としてのISAP(アンテナ伝播国際会議)の挑戦と、IEEE APSおよびEUCAPとの持続的な協力」

【2】アンテナ・伝搬における解析設計ワークショップ(再開催第16回)開催報告

2012年11月22日(木)電気ビル本館(福岡市)において, アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(再開催第16回)「OFDM伝送と受信用アレー信号処理の基礎」(藤元 美俊 講師)が開催されました. 昨年度に引き続き, アンテナ・伝播専門研究委員会と九州支部と共同主催での再開催ワークショップでした. 40件の受講申込を頂きまして, 講師の懇切丁寧な解説もあり, 講義の最中から多数の熱心な質問が寄せられ, 好評のうちに終了いたしました.

【3】アンテナ伝搬論文特集号のお知らせ

和文論文誌B, 英文論文誌Bにおいて, それぞれ以下のアンテナ・伝搬論文特集号が企画されております. 奮ってご投稿ください. 詳しくはAP研ホームページからもご覧になれます.

・和文論文誌B

ワイヤレスシステムを支える技術を融合するアンテナ・伝搬技術論文特集号

(2013年1月7日投稿締め切り, 2013年9月号掲載)

・英文論文誌B

Special Section on Recent Progress in Antennas and Propagation in Conjunction with Main Topics of ISAP2012 (2013年1月21日投稿締め切り, 2013年10月号掲載)

【4】AP研1月研究会のお知らせ

2013年1月23日(水)～25日(金), 宮崎市のホテルメリージュにおいて, 第一種研究会を開催します. オーガナイズドセッション「無線技術の未来を創る電波伝搬の研究」(オーガナイザ:山田渉氏, NTT), 及び下記のチュートリアル講演を予定しておりますので, 奮ってご参加下さい.

- 多賀　登喜雄(関西学院大):「ITS車車間通信環境における伝搬損失モデル」
- 苅込　正敞(日本電業工作):「チルト角制御用移相器の開発」
- 高橋　応明(千葉大):「体内植込み型アンテナに挑む」

【5】2012年アンテナ伝播国際シンポジウム(ISAP2012)の報告

10月29日(月)～11月2日(金)に名古屋国際会議場(名古屋)で開催されたISAP2012は, 一般投稿論文数453件, 採録論文数417件, 事前登録数391件(オーラル:271件, ポスター:120件, 31カ国／地域)と, ISAP2000(福岡)に次いで歴代2番目の規模で, 盛大かつ成功裏に開催されました. これもひとえに, 参加していただいた皆様方のおかげであると, 関係者一同, 感謝している次第です. どうもありがとうございました. 現在, 報告書を作成中ですので, 詳細情報につきましては報告書をご覧下さい.

【6】副委員長の「言葉にできない」

名古屋のISAP2012もお陰様で無事に終わりました. 現地委員会を担当したものとして達成感, 充実感, 安堵感, 疲労感, と色々な気持ちが錯綜しております. 今回の現地委員会は会場, 催事, 登録の三つの部門を担当し, 大変大きな所帯で切り盛りして参りました. そして,「My ISAP！」を合い言葉で, 現地委員会は自らが楽しくないといけないという精神で対応してきました. とても良いメンバーに恵まれ, ISAP2012が終わってしまったのが祭りの後のように, 今は寂しい気持ちでもあります. すばらしい仲間たちですので, また現地委員会で同窓会をしたいな, と思っております. ISAP2012が終わった後, 疲れから少々体調不良となり, 回復するまで2週間近くかかりましたが, 大変良い経験となりました. 言葉にできない一生の宝物ですね.

〈問い合わせ先〉
アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　　菊間信良（名工大）
E-mail ： ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET ： AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします！！　登録はAP研HPにて
AP研HP ： http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/
ISAP Archives ： http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/